

登録コード	A3594362	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究Ⅰ					担当教員	大窪 久美子
英文授業名	Thesis ResearchⅠ						
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	関連する既存の学術論文の収集と読解を的確に行い，研究課題の抽出を行うことができるようになる。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	関連する既存の学術論文の収集と読解を的確に行い，研究課題の抽出を行うことができるようになる。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	関連する既存の学術論文の収集と読解を的確に行い，研究課題の抽出を行うことができるようになる。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	関連する既存の学術論文の収集と読解を的確に行い，研究課題の抽出を行うことができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	専攻研究Ⅱ,Ⅲを行う準備段階として、緑地生態学研究に関する専門的な知識や技術について習得します。						
(5)授業計画	植物生態学及び、これを応用した景観，緑地保全に関する研究。なぜ，ある場所に特定の植物群落が発生しているのか，その成立要因や群落の組成と構造の特性について，また構成種の生活史及び個体群維持機構の特性，群落の種間相互作用などの解明に興味をもって研究しています。応用的な分野では，生態学的観点から景観，緑地保全を図るための保全生態学的研究を行います。人とのかかわりあいの深い自然を研究対象とする場合には，生物科学的手法のみならず，土地利用調査などの社会科学的手法を用い，研究にアプローチします。 これまでの研究内容 ・半自然草原における草原性植物の保全を目的とした植生管理に関する研究 ・草原性草本植物の生活史特性及び個体群維持機構の特性 ・植物群落の再生、生長過程における構成種の動態 ・砂漠化が進行する中国半乾燥地における自生低木林群落の動態解明とその保全 ・照葉樹林の動態 ・農業生態系における畦畔草地群落の評価 ・水田農業生態系における水田雑草および水生植物の保全 ・絶滅危惧種フクジュソウの群落特性及び種特性に関する保全生態学的研究 ・孤立二次林の種多様性と立地条件との関係 ・南アルプス、戸台川における希少種に及ぼす帰化植物の影響 ・長野県における絶滅危惧種ダルマガエルの生息密度と生息条件に関する研究 ・チョウ類群集と植物との関係からみた水田地域の生物生息地としての評価 ・フクジュソウ属の遺伝学的解析及び繁殖生態 ・水田地域におけるトンボ群集とその種生態 ・水田地域における鳥類群集と土地利用との関係 ・外来植物オオキンケイギクの種生態と在来群落との関係 ・野辺山演習林におけるサクラソウ群落の構造と立地環境との関係 最終回の授業の最後に授業アンケートを実施します。						
(6)自主学習の指針	研究室の研究活動に参加し、知識と経験を積んでください。						
(7)成績評価の基準	演習の内容が概ね理解できていれば「その水準にある」、十分に理解できていたら「やや上にある」、十分に理解し、応用力があれば「かなり上にある」、とてもよく理解し、応用、さらに発展できる力が備わっていれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	演習内容について事前に要旨や資料作成を準備し、授業中に紹介した関連雑誌、書籍等を読んでおくこと。						
(9)テストやレポートの予定	レポート等の課題を出します。						
(10)成績評価の方法	出席、ゼミへの参加態度、レポート等						

(11)質問、相談への対応および連絡先	緑地生態研究室（森林科学棟4F） e-mail: zuiko@shinshu-u.ac.jp 電話:0265-77-1502
(12)履修上の注意	専攻研究の前段階として演習を行います。 ※安全講習会を受講すること。 ノートPCを使用します。
【教科書】	無し
【参考書】	授業で紹介します。